

年頭のごあいさつ

南部町長 佐野 和 広

新年明けましておめでとござい

ます。天皇皇后両陛下の「即位礼正殿の儀」、「祝賀御列の儀」、「大嘗宮の儀」などご即位の関連行事を終え、実質的な「令和」の時代の幕開けを迎えました。私たちは「令和」という元号が意味する人と人との絆を深め融和を図った社会の構築に努めながら、この時代が平和であり続けるよう願わずにはいられません。

さて昨年は全国各地で度重なる台風により大きな災害に見舞われました。とりわけ本県と隣接する長野県をはじめ、千葉、神奈川など関東周辺で甚大な被害が発生しました。被災地が、これまで土砂災害や水害などとは無縁であると思われていた地域です。改めて自然の猛威、恐ろしさを感じ知らされました。本町でも総雨量562mmという、信じられないような数値が観測されましたが、奇跡的にも人命に係わる被害はありませんでした。本町に安堵致しました。私たちは今回の各地の災害を教訓として、常に防災意識の高揚と災害対策に力を

注がねばなりません。

さて、私は昨年6月より山梨県町村会長に就任し併せて8月には、めぐり合わせにより関東町村会長の仰せつかりました。今まで以上に公務が増えたため、町を留守にすることが多くなり、町民の皆様には何かと迷惑をおかけしておりますが、これも本町を広く知らしめる為の絶好の機会をいただいたものとご理解願えればと思います。3期目に揚げた公約につきましても、歩みは少しかかるかもしれませんが着実に前進しております。その中から特に町民の皆様が関心を寄せている事柄についてお話しします。はじめに一昨年7月にオープンした「道の駅なんぶ」は、過日、新聞紙上でも取り上げられましたが、予想を大幅に上回るお客様にご利用いただき、活況を呈しています。今年には中部横断自動車道の富沢・南部間が開通したことにより、前年以上の人の出入りが見込まれます。続いて、皆様が早く開館を望んでいた「なんぶの湯」が先月リニューアルオープンしました。従来の施設とは

違い斬新なものとなりましたから若い人たちにも大いにご利用いただけるものと思います。いずれも間違いなく本町活性化の一助となってくれるものと期待をしております。それから「奥山温泉」についてですが、新たに指定管理者が決定しました。従来からの根強いファンに加え、これからは中部横断自動車道開通により新たな利用者を見込めますから町の誇れる「癒しの場」として多いに内外にアピールしてまいりたいと思えます。山水徳間の里とともに、この施設が交流人口の拡大拠点となれるものと期待するところ大です。

次に、町の懸案事項でありました「総合会館」についてですが、老朽化が激しい為に、そろそろ解体作業に入らなければなりません。町内には同様の施設がいくつかありますが、いずれも多額の解体費用がかかりますので、優先順位を決めて取り壊しにかかります。特に総合会館は昨年の台風の後も雨漏りの為に使用できない部屋がいくつかあります。取り返しつかない

事態が生じる前に、保管してある荷物の移動先を考慮しながら、早急に対策を練ってまいります。その他には、林業の活性化に向けての木質バイオマスガス化発電所もいよいよ動き出しましたし、諸事情から従来の天井山の公園化構想から切り換えてアルカディア運動場隣りへの駐車場兼公園作りに向けて国交省、県と本格的に折衝に入っております。本町発展の為にやらなければならぬことは山積しておりますが、今年度は着実に公約を履行することに主眼を置き町政に取り組んで行きます。本年7月には56年ぶりにスポーツの祭典、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。おそろく日本国中が熱狂の渦に包まれると思えます。我が南部町もその波にあやかり飛躍できますよう町民の皆様とともに歩んでまいります。結びに皆様が健康で平穏な内に一年を過ごされますことをご祈念申し上げます。私の年頭の挨拶と致します。